

令和2年度・事業所による自己評価結果

事業所：ハッピーハート新潟中央 事業：放課後等デイサービス 回答数：5

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	自分が工夫している点 自分の課題や改善する点	課題又は改善目標
環境・体制整備	1 活動空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせ、安全性が配慮された空間となっているか。	3	2		・以前よりは環境は整ってきていると思う。子どもの行動に注意して見ているようにしているがもっと安全確認をしていこうと思う。	今後も子どもたちが過ごしやすい環境づくりを心がけていきます。
	2 職員の配置数は適正であるか。	3	2		・子どもの人数ではなく、子どもの状態により職員の人数が不足している時、より注意深く見守ったりかかわっていききたい。	1人1人の子どもたちへ必要な支援ができるように人員を確保したり、職員のスキルアップに努めていきます。
	3 子どもや保護者への支援や対応に困った時、相談できる体制が整っているか。	5				
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、職員は参画しているか。	4	1			業務を効率よく進められるように、優先順位の確認、振り返り等を継続して行っています。
	5 前年度の保護者向けアンケートや、面談による保護者の意向等を把握し業務改善にいかしているか。	5				
	6 接遇（言葉使い・挨拶等）、身だしなみを意識して業務に就いているか。	5				
	7 職員の資質の向上を行うために、組織として研修の機会を確保しているが、意欲的に参加しているか。	2	3			社内研修に参加したり、外部の研修にも積極的に参加していきます。
適切な支援の提供	8 面談等を適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、計画を作成していると思われるか。	5			・本当に必要なこと、今必要なことなど優先順位を考えながら計画作りを行っている。	
	9 個別支援計画を周知し、子どもと保護者のニーズや課題を理解しているか。	5			・打合せに参加していないので書面で確認し、わからないことは職員に聞くようにし、意識のズレがないように努力している。	
	10 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせる計画を作成しているか。また、指導員は計画を意識し、支援や活動内容の意図を理解し支援しているか。	5			・みんなが参加できるよう、個別に工夫されたものを取り入れながらみんなで計画している。 ・目的、目標を意識した活動を計画できている。	
	11 事業所全体で、子どもへの共通理解を持って支援にあたるよう努めているか。	5			・気になったことなどは声に出し、考えが固執しないよう話し合い、共通理解となるようにしている。	
	12 活動プログラムはチームで立案を行っているか。	5				
適切な支援の提供	13 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5				
	14 支援を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）を意識して行っているか。	5				
	15 平日、長期休暇等に応じて、活動内容を設定し、支援しているか。	5				
	16 支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	5				
	17 支援終了後には、職員間で話し合いをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1		・参加をしていないので、疑問点に関して思うことは聞いて確認するようにしている。	今後も時間を作り、職員間で話をしていきます。
	18 支援内容や状況等を正しく記録に残し、支援の検証・改善につなげているか。	5				
関係機関や保護者との連携	19 相談支援事業所のモニタリングや、支援会議等に、子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか。	5				
	20 児童発達支援センターや発達障害者支援センター（JOIN）等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	2	1	2	・相談支援機関として連携を図っているが助言や研修を受けてはいないかもしれない。	必要時には助言を受けるような連携体制を整えていきます。
	21 以前まで利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、または学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			・支援計画と学校の指導計画の交換などを行っている。	
	22 学校や障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5				
	23 保育園や学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			・学校と毎週末行っている。	
	24 保育所や認定こども園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか。	1		4	・機会を作りたいが難しい。希望をしていない場合もある。活動が本当に必要なかどうか分からない。	今後検討し、必要であれば機会を作っていきます。
	25 日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5				

保護者への説明責任等	26	支援の内容、利用者負担等について、質問があった際、誠意ある対応、丁寧な説明を行っているか。	4	1			今後も丁寧な対応を心がけていきます。
	27	個別支援計画は、支援の内容の説明を行い、保護者から同意を得ているか。	5				
	28	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5				
	29	子どもや保護者からの相談・申入れがあった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	5				
	30	定期的にお便り等を発行し、活動概要や行事予定等を子どもや保護者に対して発信しているか。	5				
	31	個人情報に十分注意しているか。	5				
	32	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために、伝わりやすいよう配慮をしているか。	5				
	33	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	1	3		地域の方に事業所を知っていただく機会を作ること、地域の施設を利用する中での交流の機会を作っていきます。
非常時等の対応	34	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。また、定期的に情報を家庭と共有し周知しているか。	5				
	35	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。また、定期的に情報を家庭と共有し周知しているか。	3	2		・現在はないが行う体制は作れている。	利用前に情報を全職員に周知し、対応できるようにしていきます。
	36	緊急時対応、防犯、感染症対応のマニュアルを策定し、職員に周知しているか。	5				
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			・月に一度行われている。	
	38	虐待を防止するため、虐待チェックアンケートや、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			・虐待チェックや研修の機会がある。	
	39	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で個別支援計画に記載しているか。	5				
	40	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	5				

ハッピーハート新潟中央

職員間でのコミュニケーションを大切にし、お互いが感じていることを共有し、自分たちの支援を振り返り、次につなげていきたいと思っています。外部への研修参加や地域との関わり、関係機関との連携に関しては、昨今の情勢の中では今まで通りとはいかないところがありますが、それでもできることを考えながら子どもたちへの適切な支援を行っていかねばいけないと感じています。これからも施設内での活動を工夫することはもちろん、子どもたち1人1人の目標、目的を日々確認し、成長できる場を作っていきたいと思っています。